

活動団体： 特定非営利活動法人 ADRA Japan

「ひとつの命から世界を変える」

団体の活動



ADRA(アドラ)は、世界約120か国に支部をもち、国連とも協働している世界最大規模の国際NGOです。活動の原点は1918年にあり、100年を超える支援実績があります。世界的なネットワークを活かして連携し、「ひとつの命から世界を変える」をモットーに、人種・宗教・政治の区別なく、紛争や自然災害の被災地、また途上国において、一人ひとりに寄り添い、自立を助ける支援に取り組んでいます。

<https://www.adrajpn.org/>



ネパール支援では、地域に根差した小児疾病への対応



ウクライナ支援のひまわりプロジェクト

インターンプロフィール

Abibullaeva Dinara



ウズベキスタンの出身。子供の頃から様々な社会問題に携わった。東京外国語大学では平和構築・戦争予防プログラムに入学し、国際関係の基礎や国際協力などを勉強。ADRA Japanに2024年6月より入職。

所属団体に活動するきっかけ

ADRA は緊急支援や開発支援を実施している団体で、団体のミッションや価値観と共感し、自身の語学力、コミュニケーション術、国際関係の知識やスキルを ADRA の活動で活かせると思って応募しました。

どのような業務(活動)をおこなっているか

ミャンマー事業とウクライナ事業を担当しています。両事業とも緊急人道支援の事業のため、状況を分析、ニーズを把握し、現地の人々が自立した生活ができるような事業の活動を行っています。また、現地スタッフとコミュニケーションをとりながら、事業の進捗確認およびモニタリングを行っています。

スキルアップのためにしていること

まずは、日本で社会人としてのマナーや習慣を身に着けるようにしています。具体的には、社会人の基礎となる報告、連絡、相談ができるように同僚や上長に指導を受けてました。

海外研修について ~どこで何を行う予定？

ADRA Japan が長年事業を実施しているネパールに行く予定です。事業のモニタリングや、現地事務所およびスタッフとの交流、関係構築、シニアスタッフに同行することにより、現地での業務を学びます。

今後のビジョンは？

国内・国外の事業を問わず、自身が担当する業務について責任をもって実施できるようになりたい。事業地に派遣された際、PDCA サイクルを活用して事業を運営し、自身の判断に基づいて業務を遂行できるようになりたい。

国際協力分野で活動を目指す人へのメッセージ

国際協力は幅広い分野で、解決する課題が多くあります。皆、独自の能力と強みを持っているので、それを活かして異なる環境にいる人々と協力し、共に成長し合うことで、より良い未来を築きましょう。

団体アピール

ADRA の日本支部として設立された 1985 年以來、開発と緊急の事業を行ってきました。2004 年には NPO 法人としての認証を受け、現在は認定 NPO 法人として、国際協力活動を行っています。日本国内においても、緊急及び復興支援活動に取り組んでいます。



「ネパールの教育支援で学資支援を受ける生徒たち」



「ウクライナ支援でクリスマスギフトを受け取り、喜ぶウクライナの子どもたち」